

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
交通結節点の改善	中部経済連合会〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)		
	中部経済連合会〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	ITSによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	
バリアフリー化の推進	中部地方整備局	「高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律」に基づき道路特定事業を実施。 平成16年度実績 国道19号：名古屋市中区金山 金山駅地区(段差・勾配改良等を実施) L=0.3km 国道1号： 豊川市国府駅地区(平成18年度完成) L=1.1km	継続実施 平成19年度予定 国道153号：豊田市拳母町・久保町 豊田市駅地区 道路特定事業計画作成 L=0.2km (平成19年度完成予定) 国道19号：中区日銀前～若宮北交差点 L=1.3km (平成19年度完成予定)	継続実施
	中部運輸局	誰もが使いやすい公共交通の実現を目指しノンステップバスの普及促進等の整備を行なう事業者に対し、公共交通移動円滑化事業にて補助を行なう。	継続実施	継続実施予定
	愛知県	乗合バス事業者に対する助成 公共交通機関としてのバスの利用を促進するため、超低床ノンステップバスの導入に対する助成を行う。 平成18年度実績：超低床ノンステップバス15両	継続実施 乗合バス事業者に対する助成 平成19年度予定：超低床ノンステップバス12両	継続実施
	愛知県	交通バリアフリー法の特定旅客施設における特定経路のバリアフリー化 事業計画総延長：114.6km H18未進捗状況：40.5km	継続実施 H19未進捗状況：56.8km	継続実施
	名古屋市	名古屋駅地区交通バリアフリー基本構想の推進 垂直移動施設の整備、多機能トイレの整備、誘導用ブロックの連続性確保、歩道・地下街の段差解消等 栄・久屋大通駅地区交通バリアフリー基本構想の策定 垂直移動施設の整備、多機能トイレの整備、誘導用ブロックの連続性確保、歩道・地下街の段差解消等	名古屋駅地区交通バリアフリー基本構想の推進 歩道・地下街の段差解消等 栄・久屋大通駅地区交通バリアフリー基本構想の推進 垂直移動施設の整備、多機能トイレの整備、誘導用ブロックの連続性確保、歩道・地下街の段差解消等 バリアフリー法に基づく重点整備地区を選定予定	継続実施 継続実施 バリアフリー法に基づく重点整備地区基本構想の策定

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
バリアフリー化の推進	名古屋市	歩道の段差解消、視覚障害者誘導用ブロックの設置を行い歩行者等の安全通行を図る。 平成18年度実績 歩道の段差解消 223箇所 誘導用ブロックの設置 214箇所 栄・久屋大通駅地区交通バリアフリー事業 歩道整備：259m	継続実施 平成19年度予定 歩道の段差解消 250箇所 誘導用ブロックの設置 250箇所 栄・久屋大通駅地区交通バリアフリー事業 歩道整備：340m 視覚障害者誘導用ブロック設置：1,730m	継続実施 毎年下記数量を目標に計画 歩道の段差解消 250箇所 誘導用ブロックの設置 250箇所 継続実施
	岡崎市	・岡崎市交通バリアフリー基本構想《岡崎駅周辺地区》を作成(平成15年3月) ・岡崎市交通バリアフリー基礎調査(平成16年2月) ・岡崎市交通バリアフリー事業化調査(平成17年3月)	バリアフリー整備の事業化に向け、関係者と協議・検討	継続検討
	岡崎市	JR岡崎駅バリアフリー化設備整備費補助(平成15年度～16年度) ・車椅子対応エレベーター3基新設 ・多機能トイレ新設 ・こ線橋新設 ・1階通路新設 名鉄矢作橋駅バリアフリー化設備整備費補助(平成18年度) ・車椅子対応エレベーター2基新設 ・多機能トイレ新設 ・こ線橋の改良	名鉄美合駅バリアフリー化設備整備費補助 ・車椅子対応エレベーター3基新設 ・スロープ新設 ・改札口改良	
	半田市		名鉄知多半田駅バリアフリー化 ・エレベーター設置 4基 ・多目的トイレ設置 1箇所 ・ホーム高上げ 全体	
	半田市	パーク・アンド・ライド駐車場の整備 平成2～3年度の2か年で、名鉄知多半田駅北西に半田市雁宿駐車場を建設し平成4年度に供用開始した。 構造 地上3階4層(自走式・機械式併用) 収容台数 389台 (うちパーク・アンド・ライド112台) エレベータ乗降口及びトイレに段差があり、平成17年度に改良工事を実施。	なし	なし
	春日井市	平成14年度にJR高蔵寺駅周辺交通バリアフリー基本構想を作成。各事業者がこれに基づいて管理施設等のバリアフリー化を実施 実績：周辺道路のバリアフリー化	継続実施 予定：構想に基づき道路管理者により周辺道路のバリアフリー化	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業	
バリアフリー化の推進	豊川市	<ul style="list-style-type: none"> 平成16年度、平成17年度「豊川市交通バリアフリー基本構想」を策定 平成18年度基本構想を踏まえた「国府駅東西連絡通路エレベーター設置、国府駅前広場及び市道大池線整備に係る基本計画」を策定 	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画を踏まえた実施設計「国府駅東西連絡通路エレベーター設置」「国府駅前広場整備」 名鉄国府駅(構内)のバリアフリー化設備整備費に対する補助金の交付 	<ul style="list-style-type: none"> 平成20年度、工事(市事業)「国府駅東西連絡エレベーター設置」「国府駅前広場整備」「市道大池線整備(歩道改良)」 	
	稲沢市	国府宮駅・清洲駅の整備計画	継続実施	継続実施	
	新城市	都市計画道路入船線については平成12,13年度に人にやさしい街づくり推進事業により歩道のバリアフリー化施工			
	中日本高速道路	バリアフリー施設の整備 身障者駐車場屋根 愛知県内の休憩施設のバリアフリー化状況 高速道路 18箇所/18箇所 100% 一般有料 4箇所/4箇所 100% トイレ内部の段差解消 愛知県内の休憩施設のバリアフリー化状況 高速道路 17箇所/24箇所 71% 一般有料 4箇所/4箇所 100% 身障者駐車場からトイレまでの通路(歩道)屋根 愛知県内の休憩施設のバリアフリー化状況 高速道路 18箇所/18箇所 100% 一般有料 4箇所/4箇所 100%	継続実施 平成19年度 高速道路5箇所ではバリアフリー化を予定 トイレ内部の段差解消 平成19年度の予定なし	継続実施 トイレ内部の段差解消 平成22年度までに全て実施	
	愛知県道路公社	バリアフリー施設の整備 トイレ内部の段差解消 すべてのパーキングエリアで実施	継続実施 身障者駐車場屋根 大府パーキング・阿久比パーキングに設置 身障者駐車場からトイレまでの通路屋根 大府パーキング・阿久比パーキングに設置	なし	
	愛知県バス協会	バリアフリー化を推進するため 超低床ノンステップバス 1台 リフト付きバス 5台 低床スロープ付バス 40台 に助成	継続実施	継続実施	
利用者のニーズにあった運賃制度の導入等	名古屋市、名古屋鉄道(株)、桃花台新交通(株)、名古屋臨海高速鉄道(株)、愛知高速交通(株)	平成15年3月の上飯田線開業に合わせ、市バス・地下鉄、名鉄バス・名鉄電車及び桃花台線の間でカードによる共通利用システム「トランパス」を導入。平成16年10月開業のおおなみ線、平成17年3月開業のリニモにも「トランパス」を導入。(*桃花台線..平成18年度廃線)	継続実施	継続実施 ICカード乗車券の導入の検討 (ゆとりーとライン、おおなみ線)	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業	
利用者のニーズにあった運賃制度の導入等	名古屋市	・平成18年4月より、ドニチエコきっぷ(土・日・祝日・毎月8日利用可。大人600円小児300円)を新設 ・バス通勤定期券の全線化 ・特得60バス定期(H18.4.1 現在60歳以上の方3ヶ月10,000円)新設	継続実施	継続実施 ICカード乗車券の導入 市バス・地下鉄に導入 (平成22年度)	
	小牧市	巡回バスの他の交通機関との乗継割引制度 ・名鉄電車 ・ピーチライナー (平成18年10月以降ピーチバス)	巡回バスの他の交通機関との乗継割引制度の継続 ・名鉄電車(乗継割引制度の見直し) ・ピーチバス	(検討中)	
パーク・アンド・ライド駐車場の整備	愛知県	平成14年度に店舗利用型あいちパーク&ライド社会実験を、県下の3店舗で行った。 実施店舗は アピタ阿久比店(阿久比町) イオン東浦ショッピングセンター(東浦町) キャスタ・イトーヨーカドー犬山店(犬山市) 社会実験後も店舗利用型パーク&ライドの普及拡大を図る	引き続き、店舗利用型パーク&ライドの普及拡大を図る。 ・現在5店舗で実施(H19.3未現在) イオン東浦ショッピングセンター(東浦町) ヨシヅヤ甚目寺店(甚目寺町) アピタ阿久比店(阿久比町) ユニー乙川店(半田市) アピタ向山店(豊橋市)	継続実施	
	愛知県	パーク・アンド・ライド社会実験の実施 場所:リニモ愛・地球博記念公園駅北側 期間:平成18年1月4日~9月30日 社会実験箇所における有料運用開始 (平成18年10月1日から)	パーク・アンド・ライド普及拡大に向けた啓発活動等の実施	継続実施	
	愛知県 ボランティアネイバーズ	パーク・アンド・ライドの推進と公共交通機関の利用促進をテーマとして、地域住民等との協働によるモデル事業を実施し、フォーラムの開催(平成17年11月)とそれを契機としたワークショップ(5回)を開催した。			
	愛知県 (再掲)	エコカーの導入など、あいち新世紀自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定する制度を創設 平成18年度までの実績:計39事業所を認定	「自動車エコ事業所」の認定及びホームページによる取組の紹介 平成19年度認定事業所への要望等ヒアリング調査実施	継続実施	
	愛知県 名古屋市	東海三県一市による広域的なパーク・アンド・ライドの推進のための共同事業の検討・実施 ・パーク・アンド・ライド駐車場等を紹介する共同ホームページの作成 ・PRポスターの作成、一斉掲示	継続実施	継続実施	
	名古屋市	・「名古屋市パークアンドライド駐車場整備計画」の策定 ・「名古屋市パークアンドライド駐車場認定制度」・「名古屋市パークアンドライド駐車場整備等補助金交付制度」の創設 ・名古屋市によるパークアンドライド駐車場の整備(6ヶ所、総収容台数401台) ・民間事業者等によるパークアンドライド駐車場の整備等の誘導(17ヶ所、842台)	・「名古屋市パークアンドライド駐車場整備計画」の推進 ・名古屋市パークアンドライド駐車場認定制度の活用による認定 ・名古屋市パークアンドライド駐車場整備等補助金交付制度の活用による民間事業者等の整備の誘導 ・認定したパークアンドライド駐車場に関する情報提供	継続実施	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業															
パーク・アンド・ライド駐車場の整備	半田市 〔再掲〕	パーク・アンド・ライド駐車場の整備 平成2～3年度の2か年で、名鉄知多半田駅北西に半田市雁宿駐車場を建設し平成4年度に供用開始した。 構造 地上3階4層(自走式・機械式併用) 収容台数 389台 (うちパーク・アンド・ライド112台) エレベータ乗降口及びトイレに段差があり、平成17年度に改良工事を実施。	なし	なし															
	豊田市	愛知環状鉄道線 ・未野原駅(25台) 四郷駅(155台) ・篠原駅(16台) 三河上郷駅(16台) ・貝津駅(44台) パークアンドライド駐車場整備基本計画の策定	愛知環状鉄道線 ・未野原駅(約150台)用地取得 ・八草駅(約30台)整備工事 ・保見駅(約50台)整備工事	愛知環状鉄道線 ・未野原駅(約150台)用地取得															
	小牧市	<table border="1"> <thead> <tr> <th>駐車場名称</th> <th>供用開始</th> <th>駐車台数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小牧駅地下駐車場</td> <td>平成元. 11. 1</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>ラピオ地下駐車場</td> <td>平成7. 9. 20</td> <td>493</td> </tr> <tr> <td>小牧駅西駐車場</td> <td>平成7. 9. 20</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>浦田駐車場</td> <td>平成14. 4. 1</td> <td>39</td> </tr> </tbody> </table>	駐車場名称	供用開始	駐車台数	小牧駅地下駐車場	平成元. 11. 1	316	ラピオ地下駐車場	平成7. 9. 20	493	小牧駅西駐車場	平成7. 9. 20	130	浦田駐車場	平成14. 4. 1	39	継続供用	継続供用
	駐車場名称	供用開始	駐車台数																
	小牧駅地下駐車場	平成元. 11. 1	316																
	ラピオ地下駐車場	平成7. 9. 20	493																
	小牧駅西駐車場	平成7. 9. 20	130																
	浦田駐車場	平成14. 4. 1	39																
長久手町	東部丘陵沿線の商業施設や公共施設等に駐車場のパーク・アンド・ライド利用に働きかける。	継続実施	継続実施																
幸田町	パーク・アンド・ライド駐車場の整備 幸田駅南駐車場整備 自動車駐車場整備新規 40台 自転車駐車場増設 101台(累計460台) 幸田駅西駐車場整備 第1駐車場再舗装整備 4,460㎡ 第2駐車場再舗装整備 4,083㎡																		
中部経済連合会 〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)																		
中部経済連合会 〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	ITSによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。																	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
歩道、自転車通行帯、自転車駐車場の整備等	中部地方整備局	自動車交通から自転車交通への転換を促し、地球環境への負荷軽減に貢献するために、自歩道内の自転車通行帯明示等により、自転車利用環境整備を実施。 ・自転車通行帯の明示 国道19号：名古屋市熱田区神宮～若宮北 L=4.6km ・自転車道の整備 国道23号：名古屋市南区丹後通～元塩町 L=0.6km ・協議会の開催 国道19号：名古屋市中区栄～錦 L=1.3km ・自歩道整備 国道19号：春日井市勝川町～東野町 L=1.5km(累計6.0km) 国道41号：名古屋市北区黒川本通～中切町 L=0km(累計3.0km)	継続実施 ・自転車道の整備 国道19号：名古屋市中区日銀前～若宮北 L=1.3km (平成19年度完成予定) ・自歩道整備 国道19号：春日井市勝川町～東野町 L=5.0km(累計11.0km)	継続実施 継続実施 継続整備
	愛知県	歩道・自転車歩行車道の整備 平成18年度までの実績 全整備延長 2,549.3km 整備率 55.6% 平成18年度整備延長 13.4km	継続実施 平成19年度予定 平成19年度 整備予定延長 13.4km	継続整備
	愛知県 (再掲)	グリーン配送制度の導入など、あいち新世紀自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定する制度を創設 「自動車エコ事業所」の認定及びホームページによる取組の紹介 平成17年12月27日よりグリーン配送制度の導入。 平成18年度からグリーン配送制度を本格導入。	継続実施	継続実施
	名古屋市	歩行者等の安全通行を図るため歩道を整備する。 平成18年度実績 歩道整備 11.8km	継続実施 平成19年度予定 歩道整備 14.8km	継続実施 毎年下記数量を目標に計画 歩道の整備 13km
	名古屋市	自転車駐車場の整備 平成18年度までの実績 整備箇所 約380箇所 整備台数 約104,000台 (平成18年度 有料化 6駅)	継続整備 平成19年度予定 整備駅数 15駅(有料化)	継続整備
	名古屋市	コミュニティ道路等の歩行者系道路の整備 平成18年度までの実績 整備路線 326路線 整備延長 105.1km	継続整備 平成19年度予定 整備路線 6路線 整備延長 1.3km	継続整備
	岡崎市	歩道設置継続整備	歩道設置継続整備 大和富永線 : 170m	(平成19年度まで)
	半田市	自転車等駐車場の整備 昭和49年に名鉄知多半田駅北に天王町自転車等駐車場を設置して以来、名鉄4駅・JR4駅に14箇所、計2,256台の収容能力を持つ自転車等駐車場を設置。	平成19年4月、名鉄半田口駅に隣接した民有地を借上げ、40台収容の駐輪場を設置した。	知多半田駅東の自転車等駐車場(150台収容)を廃止し、付近の2箇所の土地(市有地、計160台収容)への移転を計画。

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
歩道、自転車通行帯、自転車駐車場の整備等	半田市	歩道、自転車通行帯の整備 計画概要 対象：知多半田駅前土地区画整理事業区域内都市計画道路4路線 延長：2.29km 進捗状況(平成18年度末現在) 供用区間：都市計画道路3路線(1路線部分供用) 延長：1.86km	整備継続 整備区間：0.43km	なし
	春日井市	各鉄道駅周辺の自転車等駐車場(駐輪場)の整備 実績：約16,000台収容可能な駐輪場の整備・維持管理(平成18年度末)	継続実施 予定：現在の収容可能台数を維持	継続実施
	津島市	歩道自転車通行帯自転車駐輪場整備等 自転車駐輪場の整備 18年度までの実績 7ヶ所 1,450台	継続実施	継続実施
	安城市	エコサイクルシティ計画の策定 ・環境にやさしい自転車の利用促進を図るための計画を策定	継続実施 エコサイクルシティ計画推進事業 ・自転車利用の意識啓発のためのイベント開催(2回) エコサイクルシティ環境整備事業 ・自転車ネットワーク整備計画の策定	継続実施 継続実施 ・モデル地区での重点整備実施
	犬山市	自転車駐輪場の整備 平成13年度 1ヶ所 150台分 平成15年度 1ヶ所 130台分 平成18年度 1ヶ所 15台分		
	新城市		都市計画道路栄町線 延長135m 幅員2.5m 車道、歩道、自転車道を分離して整備。	
	新城市	都市計画道路野田城線 歩道設置工事 歩道幅員2m：H16 12m ：H17 77m ：H18 35m	都市計画道路野田城線 歩道設置工事 歩道幅員2m：H19 12m	都市計画道路野田城線 野田踏切歩道設置拡幅計画
	知多市	知多北部都市計画駐車場 第3号新舞子第一自転車駐車場 第4号新舞子第二自転車駐車場整備 計画概要 面積850m ² 駐車台数650台 進捗状況 平成13年度：実施設計、都市計画決定、事業認可 平成14年度：用地買収 平成15年度：用地買収、都計変更、変更事業認可 平成16年度：変更事業認可 工事(595台整備)	なし	名鉄新舞子駅舎改修後 残整備分55台で完了

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
歩道、自転車通行帯、自転車駐車場の整備等	尾張旭市	市内4駅1バス停周辺に自転車駐車を整備 26箇所 7,665台分	継続実施	継続実施 区画整理に伴い名鉄旭前駅に自転車駐車場整備予定
	長久手町	自転車駐車場の整備 東部丘陵線の開通に伴い15駅に自転車駐車場を整備 (杵ヶ池公園駅 250台、公園西駅 65台、 はなみずき駅 200台、古戦場駅 264台、 芸大通駅 164台)		
	甚目寺町	歩道設置工事 平成18年度までの実績 延長0.57km	継続整備 平成19年度予定 延長0.06km	継続整備
	阿久比町	阿久比駅・坂部駅・巽ヶ丘駅駐輪場の整備	継続整備	継続整備
	東浦町	歩道または自転車歩行者道の整備 平成18年度実績 歩道整備 L=298m 自転車歩行者道整備 L=75m	歩道または自転車歩行者道の整備 平成19年度予定 歩道整備 L=70m 自転車歩行者道整備 L=100m	継続整備 歩道の整備 自転車歩行者道整備
	幸田町 〔再掲〕	パーク・アンド・ライド駐車場の整備 幸田駅南駐車場整備 自動車駐車場整備新規 40台 自転車駐車場増設 101台(累計460台) 幸田駅西駐車場整備 第1駐車場再舗装整備 4,460㎡ 第2駐車場再舗装整備 4,083㎡		
自転車利用の促進	名古屋市	自転車の交通ルールやマナーの向上を図るため、広報及び啓発活動を実施。	継続実施	継続実施
	名古屋市	幅の広い歩道において安全かつ適正に自転車が利用促進されるように、舗装の材質や色で、自転車と歩行者の通行区分を明確にする歩道整備を実施 平成18年度までの実績 整備延長 32.1km	継続整備 平成19年度予定 整備延長 0.4km	継続整備
	愛知県	自転車レンタルモデル事業の実施 (県内3地域 碧南市、安城市、小牧市)	自転車レンタル事業の他市町村への普及 県内10市町において実施中	継続実施
	愛知県	自転車レンタル事業実施マニュアルの配布	継続実施	継続実施
	一宮市	一宮駅周辺の放置自転車防止のため自転車(グリーンサイクル)を無料貸出 平成17年度実績 43台	継続実施	継続実施
	春日井市	平成13年度から市内8か所に放置自転車を再利用したレンタサイクルを44台設置 実績：稼働率35.3%(平成18年度)	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
自転車利用の促進	碧南市	平成15年7月17日より「リ・サイクルタウン」事業として、今まで市管理の駐輪場より出る放置自転車を廃棄処分していたが、その自転車を再利用し、市内に8カ所のステーションを設けて無料貸出を行い、環境保全、物の大切さを認識してもらう事業を実施した。		
	豊田市	H18年度都心部における公共交通利用者や観光客、ビジネスマンの近距離移動支援等を目的として自転車共同利用社会実験を実施した。 ・豊田市駅周辺に3箇所程度貸出し箇所を設置し8月~3月まで実施 自転車15台、電動アシスト付自転車6台 自転車の有効性を呼びかけながら利用者の掘り起こしを行い、民間による実用化の検討を行う。	社会実験を終了し、7月より民間企業により事業化 ・料金改定 ・利用時間の延長 ・会員証のパウチサービス、回数券を導入	民間企業により継続実施
	安城市	レンタルサイクル事業 平成16年7月3日事業開始 ・サイクルポート2箇所 平成17年3月1日 ・サイクルポート増設 平成18年4月1日 ・どのサイクルポートでも返却可能な運用に変更 総設置数 サイクルポート 3箇所 レンタサイクル 30台	継続実施 平成19年4月16日 ・サイクルポート増設 総設置数 サイクルポート 6箇所 レンタサイクル 40台	継続実施 ・サイクルポートを増設していく
	小牧市	レンタサイクルの整備 駅から目的地までの移動の足の確保による公共交通の利用促進(小牧駅 12台) 平成18年度末に7台入れ替え(うちりサイクル自転車を3台活用)	継続実施	継続実施
	小牧市	自転車レンタル事業(通勤型)の実施 平成16年10月1日試行 市内企業3社に各5台の自転車を貸与	継続実施	継続実施
	新城市	自発的に通勤手段を自転車に変更した。 【エコライフ週間設定時】	継続実施	継続実施
	田原市		田原市街地における自転車利用促進策の検討 ・レンタサイクル事業社会実験実施(8月~10月末)	実験結果の評価・分析により今後の展開について検討
	都市圏交通円滑化総合計画の策定、推進	中部運輸局	環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業の平成16年度実施地域として、愛知県内では豊田市を選定。	環境的に持続可能な交通(EST)モデル事業の地域指定は、平成18年度で終了。 これまで指定された地域については引き続き支援を行う。
愛知県		豊田都市圏交通流円滑化総合計画の推進、名古屋都市圏交通流円滑化総合計画の推進	豊田都市圏新交通円滑化・CO2削減総合計画の推進、名古屋都市圏交通流円滑化総合計画の推進	豊田都市圏新交通円滑化・CO2削減総合計画の推進、名古屋都市圏交通流円滑化総合計画の推進
名古屋市		名古屋都市圏交通円滑化総合計画の策定、推進 名古屋市始め26市町で円滑化実施都市圏の指定を受けた。(平成16年度までの実績) 中間評価の実施(平成18年度) 関連施策の推進	名古屋都市圏交通円滑化総合計画の推進 関連施策の推進	名古屋都市圏交通円滑化総合計画の推進 関連施策の推進

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
都市圏交通円滑化総合計画の策定、推進	豊田市	豊田都市圏交通円滑化総合計画の策定(平成12年3月) 豊田交通円滑化総合対策実施都市圏の指定(平成13年4月) TDM社会実験の実施(平成16年10月) 愛知環状鉄道沿線4市によるTDM社会実験の実施(平成17年11月) 豊田都市圏新交通円滑化・CO2削減総合計画の策定(平成19年3月)		
ETCの普及	愛知県	愛知県ITS推進協議会におけるITSの普及実用化に向けた取組 平成18年度実績 ETCサービス料金所の整備:118箇所 ETC車載器の普及:1,479,665台	継続実施	継続実施
	愛知県	愛知県バス協会のETC装着促進事業(会員がETC車載器等を購入する際に費用を一部助成)に対し、運輸事業振興助成交付金を交付。	継続実施	継続実施
	愛知県	愛知県トラック協会のETC装着促進事業(会員がETC車載器等を購入する際に費用を一部助成)に対し、運輸事業振興助成交付金を交付。	継続実施	継続実施
	豊田市	ETCを活用した駐車場システムの整備 TM若宮パーキングにETC車載器の個別IDを活用した車両認識による発券のない自動ゲート開閉システムを、社会実験を通じて導入 ・H17年度 民間駐車場経営者(TMO)によるシステムの運用(実用化)実施 ・H18年度 システムの運用継続	荷捌き駐車場の社会実験を実施	荷捌き駐車場の民間による実用化(H19年度実験結果次第)
	西尾市	公用車へのETC導入 平成18年度 計8台設置	平成19年度予定 4台(合計12台)	なし
	常滑市	渋滞解消を図るため公用車にETCを搭載	継続使用	継続使用
	新城市	消防指揮車、一般公用車に設置した。	継続使用	継続使用
	中日本高速道路	ETCの普及 料金所のETC化 愛知県内の中日本高速株式会社管理料金所のETCの導入状況 高速道路 55箇所/55箇所 100% 一般有料 9箇所/9箇所 100% 豊川橋は未整備 ETC利用率(平成19年4月現在) 愛知県内の主な料金所のETC利用率 東名高速道路 豊田IC 75%(68%) 東名阪自動車道 名古屋IC 72%(64%) 名神高速道路 小牧IC 76%(68%) 伊勢湾岸自動車道 名古屋南第一IC 74%(67%) カッコ内は昨年同月ETC利用率	新規開通区間は継続整備 平成19年度開通予定区間はなし	新規開通区間は継続整備

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
E T Cの普及	名古屋高速道路公社 〔再掲〕	新たなE T C料金割引を実施。(H18.2.1~) ・ETCマイルージサービス キャンペーンで基本ポイント+3ポイント(H18.2.1~ H19.1.31) ・名古屋ETCコーポレートカード割引 キャンペーンで+3%割引(H18.2.1~H19.1.31)	継続実施 ・キャンペーン延長:基本ポイント+3ポイント(H18.2.1~ H19.7.31) ・キャンペーン延長:+3%割引(H18.2.1~H19.7.31)	継続実施予定
	名古屋高速道路公社 〔再掲〕	新たなE T C料金割引を実施。(H18.2.1~) ・ETC 端末特定区間割引 ・ETC 日曜・祝日割引 キャンペーンで土曜日割引(H18.2.1~H19.1.31) ・ETC 夜間割引(H18.11.1~)	継続実施 ・清須線供用開始に併せ新たな ETC 端末特定区間割引の導 入を図る。 ・キャンペーン延長:土曜日割引(H18.2.1~H19.7.31)	継続実施予定
	名古屋高速道路公社 〔再掲〕	ETC 迂回乗り継ぎを実施。(H17.2.11~)() ETC ご利用のお客様がETC 無線通行により、吹上東出入口 を利用して都心環状線の渋滞区間を迂回できるようにし た。	継続実施予定	継続実施予定
	愛知県道路公社	知多半島道路・南知多道路・知多横断道路・中部国際空港連絡 道路・名古屋瀬戸道路・猿投グリーンロードの全料金所にE T C を整備し、運用を開始した。 知多半島道路の大高料金所においてE T Cレーンを増設 新たなE T C料金割引を実施。(H18.9.1~) ・ETCマイルージサービス(基本ポイント) キャンペーンで基本ポイント+3ポイント(~H20.3.31)	E T C料金割引を追加で実施。(H19.4.1~) ・ETCマイルージサービス(加算ポイント) ・ETCコーポレートカード割引 キャンペーンで+3%割引(~H20.3.31) ・ETC夜間・早朝割引	継続実施予定
	愛知県トラック協会	E T Cの装着に対する購入経費の一部助成 平成18年度実績:1,014台	E T Cの装着に対する購入経費の一部助成 平成19年度予定:2,200台	未定
	愛知県バス協会	E T Cの装着に対する購入経費の一部助成 バス事業者20社が852台に車載器を装着済み。	平成17年度事業終了	
	中部経済連合会 〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網 を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用 すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、I T S など最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点か ら新しい施策を提言した。(H16.6)		
	中部経済連合会 〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関 の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、 温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に 限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあ り方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	I T Sによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづく りや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	
駐車場管理シ ステムの構築	愛知県 〔再掲〕	愛知県I T S推進協議会におけるI T Sの普及実用化に向 けた取組	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
共同配車、共同輸配送システムの導入	愛知県〔再掲〕	愛知県ITS推進協議会におけるITSの普及実用化に向けた取組	継続実施	継続実施
	新城市	共同配車、共同輸配送システムの導入 市役所の本庁、総合支所間における文書等一括搬送(回数:1日1回)	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部	車両運行管理システム(MOCS)の整備 豊田市内の運送事業所等の管理車両1,500台を対象に運用	継続実施	継続実施
新交通管理システムの整備	愛知県〔再掲〕	愛知県ITS推進協議会におけるITSの普及実用化に向けた取組	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部	交通管制センターの高度化 半田サブセンターの高度化更新(平成18年度)	継続実施 東海サブセンターの高度化更新	継続実施
	愛知県警察本部	新交通管理システム(UTMS)の高度化 公共車両優先システム(PTPS) 車両運行管理システム(MOCS)及び交通情報提供システム(AMIS)の整備	継続実施	継続実施
ITS総合情報提供基盤の整備	愛知県〔再掲〕	愛知県ITS推進協議会におけるITSの普及実用化に向けた取組	継続実施	継続実施
	愛知県	人の移動に関する様々な情報を一元的かつ分かりやすく提供するためのシステム(交通関連情報総合提供システム:スキップあいち)を構築し、実証実験(第1次:平成16年のITS世界会議時、第2次:愛知万博開催時)を実施。	(平成17年度まで)	
	中部地方整備局	統合道路管理情報センター運用開始 平成16年4月 中部地方整備局管内の道路管理情報(他道路管理者含む)を一元管理していく施設:名古屋市千種区松軒1丁目	継続実施	継続実施
	豊田市	ITS情報センターの整備、情報提供 移動に必要な情報をPCやインフォメーションカウンターにて提供 ・総合情報提供システム「みちなびとよた」の構築および移動支援情報の提供。道路交通情報や観光・イベント等の目的地情報、目的地への交通手段・経路など移動に必要な情報をインターネットや携帯電話等にて提供(継続実施) ・H17年度 コンテンツを追加(H17)地区毎の気象情報、バス運行履歴情報、冬季道路状況情報、P&R駐車場情報 ・H18年度 コンテンツを追加(H18)秋季香嵐渓渋滞対策に関する情報提供	利用者ニーズ等に基づく総合情報提供システム「みちなびとよた」の充実・改善 ・データ更新体制の見直し ・経路検索システムの改善及び地図の改変 ・インターフェイスの見直し	利用者ニーズ等に基づく総合情報提供システム「みちなびとよた」の充実・改善
	名古屋高速道路公社	道路交通情報通信システム(VICS)の拡充整備 供用路線の延伸に併せてビーコンの拡充を図るとともに、情報提供内容等の改良を行った。	継続実施予定	継続実施予定

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
ITS総合情報提供基盤の整備	中部経済連合会〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)		
	中部経済連合会〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	ITSによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	
	ITS JAPAN	CO2削減に寄与するITSシステム候補を幅広く連携・活用させ、市民参加によるCO2削減を行なう「環境ITSプロジェクト」を立ち上げ、下記を実施した。 (1)愛知・名古屋・豊田地域に存在する環境改善に寄与するITS(「環境ITS」)を活用したモデル実験システムの検討 (2)シミュレーションにより、「環境ITS」による個別の改善効果と地域全体の改善可能性の推定 (3)事業化のための基礎検討	18年度FS事業に基づき、CO2削減効果量を社会実験で実測する。 (1)モデル実験システム構築 ・センターシステムの構築 (2)社会実験の実施 ・大都市モデル実験(名古屋市及びその周辺)の実施 ・中核都市モデル実験(豊田市)の実施 (3)社会実験での環境改善効果測定 ・環境改善効果の実測値の集約 ・実測値に基づくシミュレーションシステムの構築 (4)社会実験での事業化調査とPR ・モデル実験システムの事業化検討 ・実験参加者である市民への呼びかけ	実用システムへの移行準備として、「環境ITS」事業体設立とモデル実験システムの試行運用を予定 (1)モデル実験システムの試行運用 (2)モデル実験システム事業化の準備 (3)成果の全国展開 ・他地域への「環境ITSプロジェクト」の成果移転
歩行者ITSの導入等	中部地方整備局 名古屋市 豊田市	平成18年度まで実績 ・歩行者ITSの導入(平成17年度まで) システム設計、デ・タ整備 対象エリア:名古屋市中区栄地区 ・自律移動支援プロジェクト 愛・地球博瀬戸会場で実証実験を実施	平成19年度 豊田市自律移動支援プロジェクト 携帯端末を利用した各種情報提供の実施	
	愛知県〔再掲〕	愛知県ITS推進協議会におけるITSの普及実用化に向けた取組	継続実施	継続実施
	豊田市	総合情報提供システム「みちなびとよた」でのバリアフリー情報の提供		
その他	小牧市	道路工事の同調及び平準化を図り、円滑な道路交通を確保する。	継続実施	継続実施
	中部経済連合会〔再掲〕	「交通ネットワーク中部21」提言の中で、中部の交通網を安全、快適なものとするために既存交通網の高度利用すなわち、利用者の利便性向上、環境負荷の軽減、ITSなど最新技術の導入、都市づくりとの整合といった観点から新しい施策を提言した。(H16.6)		

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
その他	中部経済連合会 〔再掲〕	交通分野における省エネ関連の技術開発や様々な交通機関の特性を活かしながら役割分担の最適化を行なうことで、温室効果ガスの排出を削減する方策について、運輸部門に限定した調査研究を行ない、「地球環境問題と交通体系のあり方」としてとりまとめ、公表した。(H19.2)	I T Sによる地域に密着した安心・安全・豊かなまちづくりや社会インフラ整備のあり方について調査研究する。	
	ボランティアネイバ ーズ	交通・環境・まちづくりについてのフォーラムの開催と、それを契機としたコラボレーションネットワークの形成のため、平成16年11月21日(日)にフォーラムを開催。	左記を皮切りに、以降継続的な取組を進める。フォーラムを年2回程度開催。	継続実施
	ボランティアネイバ ーズ	環境省中部環境パートナーシップオフィスの管理運営を通じて、「交通と環境」における緊密な関係構築のための普及啓発を図った。	継続実施	継続実施

あいち新世紀自動車環境戦略に関する施策の実施状況一覧
 作戦No.4 道路環境改善作戦

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
低騒音舗装の敷設、環境施設帯、遮音壁の設置	中部地方整備局	低騒音舗装の敷設 進捗状況(平成18年度未現在) (上下線延長) 国道1号 約16.0km(累計138.9km) 国道19号 約0.0km(累計19.5km) 国道22号 約11.5km(累計32.8km) 国道23号 約13.0km(累計93.2km) 国道41号 約5.8km(累計38.5km) 国道153号 約0.0km(累計17.8km) 国道155号 約1.6km(累計25.6km) 国道302号 約5.7km(累計63.4km)	低騒音舗装の敷設 進捗状況(平成19年度の予定) (上下線延長) 国道1号 約13.8km(累計152.7km) 国道19号 約11.0km(累計30.5km) 国道22号 約0.0km(累計32.8km) 国道23号 約2.3km(累計95.5km) 国道41号 約0.0km(累計38.5km) 国道153号 約8.0km(累計25.8km) 国道155号 約2.4km(累計28.0km)	継続整備
		遮音壁の設置(低層遮音壁含む) 進捗状況(平成18年度未現在) (上下線延長) 国道1号 約0.5km(累計11.4km) 国道19号 約1.5km(累計6.2km) 国道22号 約4.9km(累計5.9km) 国道23号 約9.9km(累計42.9km) 国道41号 約0.6km(累計3.6km) 国道155号 約0.6km(累計2.4km) 国道302号 約0.9km(累計53.3km)	遮音壁の設置(低層遮音壁含む) 進捗状況(平成19年度の予定) (上下線延長) 国道1号 約0.8km(累計12.2km) 国道19号 約5.0km(累計11.2km) 国道22号 約0.0km(累計5.9km) 国道23号 約1.3km(累計44.2km) 国道41号 約6.0km(累計9.6km) 国道155号 約0.0km(累計2.4km) 国道302号 約2.0km(累計55.3km)	継続整備
		遮音壁の嵩上げ 進捗状況(平成18年度未現在) (上下線延長) 国道302号 約2.6km(累計約9.0km)	遮音壁の嵩上げ 進捗状況(平成19年度の予定) (上下線延長) 設置無し	継続実施
		環境施設帯の設置 進捗状況(平成18年度未現在) (上下線延長) 国道1号 約0.0km(累計5.7km) 国道23号 約0.3km(累計3.7km) 国道302号 約0.0km(累計78.9km)	継続整備	継続整備

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
低騒音舗装の敷設、環境施設帯、遮音壁の設置	愛知県	名古屋瀬戸道路 区間 日進JCT～長久手IC 延長 約2.3km(平成16年度供用) 知多横断道路 区間 半田中央JCT～りんくうIC 延長 約8.5km(平成17年度供用) 衣浦豊田線 区間 豊田市花園町～知立市西中町 延長 約4.9km(平成15年度供用) 名古屋岡崎線 区間 豊田市内第二東名併走区間 延長 約5.2km(平成18年度供用)	名古屋岡崎線 区間 豊田市内 延長 約1.4km	名古屋岡崎線 区間 豊田市 延長 約1.4km
	愛知県	低騒音舗装(排水性舗装)の敷設 平成18年度までの実績 国道 248号 区間 岡崎市岩津町～仁木町 延長 約4.0km	継続実施 平成19年度予定 国道 248号 区間 岡崎市葵町 延長 約1.4km	継続実施
	名古屋市	国道247号始め幹線道路にて低騒音舗装を実施	国道247号始め幹線道路にて低騒音舗装を実施	国道247号始め幹線道路にて低騒音舗装を実施予定 (平成19年度まで)
	岡崎市	排水性舗装工事の実施 路線名 市道明代橋線 幅員 11.0m×延長 1,030m	排水性舗装の実施 路線名 市道明代橋線 幅員 11.0m×延長 340m	
	岡崎市	排水性舗装工事の実施 路線名 市道伝馬町線 幅員 12.0m×延長 1,000m	排水性舗装の実施 路線名 市道伝馬町線 幅員 12.0m×延長 160m	継続実施
	安城市	低騒音舗装道路の建設 路線名 御幸本赤松線 延長 0.3km	低騒音舗装道路の建設 路線名 御幸本赤松線 L=276m A=2,730m ² 都計道3・4・321 東栄今池線 L=90m A=833m ²	
	犬山市 〔再掲〕	低騒音舗装及び遮音壁の設置 平成14年度 都市計画道路富岡荒井線立体交差工事		
	長久手町	長湫南部地区において通過交通の速度を減速する道路配置設計をする。	継続実施	継続実施
	中日本高速道路	低騒音舗装の敷設、遮音壁の設置 低騒音舗装:愛知県内の高速道路等延長243.1kmのうち、222.7km(91.6%)施工済み 遮音壁:愛知県内の高速道路等延長243.1kmのうち、148.8km(61.2%)設置済み	継続設置 低騒音舗装:愛知県内の高速道路等延長243.1kmのうち、223.9km(92.1%)施工予定 遮音壁:愛知県内の高速道路等延長243.1kmのうち、148.8km(61.2%)設置済み	継続設置

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
低騒音舗装の敷設、環境施設帯、遮音壁の設置	愛知県道路公社	低騒音舗装の敷設 知多横断道路 延長：8.5km 中部国際空港連絡道路 延長：2.1km 名古屋瀬戸道路 延長：2.3km 衣浦豊田道路 延長：4.3km 知多半島道路 平成18年度末までの実績 27.925km 改修	継続整備 知多半島道路 本線部 4.8km 改修 パーキング部 低騒音舗装へ改修予定	継続整備 知多半島道路全区間及び南知多道路の一部区間において、低騒音舗装へ継続して改修していく。 知多半島道路 本線部 4.4km 改修予定 南知多道路 本線部 3.2km 改修予定
	名古屋高速道路公社	名古屋高速道路公社において騒音要請限度を超過している区間について、騒音対策を実施。 1号楠線、5号万場線、都心環状線 遮音壁の高上げ等・低騒音舗装の敷設 (5号万場線は平成13年度及び14年度に、1号楠線は平成15年度及び16年度に、環状線は平成17年度に、それぞれ騒音対策を実施済み) 3号大高線(上り線) 遮音壁の高上げ等・低騒音舗装の敷設	継続実施 6号清須線(上下線)の低騒音舗装の敷設 3号大高線(下り線)の低騒音舗装の敷設	継続実施 4号東海線(上下線)の低騒音舗装の敷設
沿道対策の推進	名古屋高速道路公社	高速道路の供用後、騒音の著しい沿道の住宅において、緊急的措置として対象となる住宅の所有者からの申し出により建物側での防音工事助成を実施している。 平成18年度末までの実績・完了3,056世帯	継続実施	継続実施

あいち新世紀自動車環境戦略に関する施策の実施状況一覧
 作戦No.5 環境監視・情報提供作戦

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
自動車排ガス測定局の設置	中部地方整備局	道路管理者として沿道の環境を把握するため観測局を設置 平成18年度実績 国道 1号 0箇所(累計4箇所) 国道 19号 0箇所(累計1箇所) 国道 22号 0箇所(累計3箇所) 国道 23号 0箇所(累計6箇所) 国道 41号 0箇所(累計0箇所) 国道 153号 2箇所(累計2箇所) 国道 155号 1箇所(累計1箇所) 国道 302号 0箇所(累計2箇所)	継続整備 平成19年度予定 国道 1号 0箇所(累計4箇所) 国道 19号 0箇所(累計1箇所) 国道 22号 0箇所(累計3箇所) 国道 23号 0箇所(累計7箇所) 国道 41号 0箇所(累計0箇所) 国道 153号 0箇所(累計2箇所) 国道 155号 0箇所(累計1箇所) 国道 302号 0箇所(累計2箇所)	継続整備 国道 302号 3箇所
	愛知県	常時監視局による大気環境監視 自動車排出ガス測定局:累計10局	継続実施	継続実施
	名古屋市	常時監視局による大気環境監視 自動車排出ガス測定局:11局(平成18年度)	継続実施	継続実施
	岡崎市	常時監視局による大気環境監視 自動車排出ガス測定局:3局	継続実施 自動車排出ガス測定局の新設:1局(計4局)	継続実施
	豊田市	自動車測定局の設置(4局)及び大気汚染測定事業	新規設置無し 大気汚染測定事業	新規設置無し 大気汚染測定事業
	小牧市	平成14年12月に小牧市大気汚染測定局を国道41号(弥生町交差点)に設置。 自動車排ガス測定局として、大気等の常時監視を実施している。測定項目は、窒素酸化物、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント、一酸化炭素、気象。	継続実施 (観測ポイントは変更の可能性あり)	継続実施
	大府市	公害対策事業 第二東海自動車道横浜名古屋線測定局設置 (平成15年度開設) 浮遊粒子状物質SPM、窒素酸化物NOx、降下ばいじん量調査	継続実施	継続実施
	刈谷市	常時監視局による大気環境監視 自動車排出ガス測定局設置:1局 東境町測定局(平成16年度開設) 測定項目:浮遊粒子状物質、窒素酸化物、騒音	継続実施	継続実施
渋滞、駐車場、大気汚染等各種情報の提供	中部地方整備局	大気常時観測局の設置に併せてH14.10より大気観測情報をホムベジ上で提供	継続運用	継続運用
		各大気常時観測局に、歩行者向けに直近の1時間観測値(速報値)を表示する情報板を設置 平成18年度実績はなし(下記は平成16年度実績) ・一般国道22号 名古屋市西区堀越 ・一般国道23号 名古屋市南区要町 ・ " 名古屋市南区七条町 計3箇所(累計9箇所)	継続整備	継続整備

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
渋滞、駐車場、 大気汚染等各種 情報の提供	愛知県警察本部	交通情報の収集・提供による交通の適正な配分	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部	道路交通情報通信システム(VICS)エリアの拡大 光ビーコンの整備 平成18年度末までに4,841基を整備	継続実施	継続実施
	豊田市	大気等観測データの情報の提供	大気等観測データの情報の提供	大気等観測データの情報の提供
	豊田市	駐車場案内システムの導入(S63年度~) 案内板、路側放送での満空情報提供 駐車場案内システムの高度化(H11年度~)インターネット、CATVでの提供 駐車場案内システムの携帯電話への提供(H12年度~H14年度) 駐車場情報の提供を総合情報提供システム「みちなびとよた」に統合(H16年度~)	駐車場案内システムの管理継続	駐車場案内システムの管理継続
	長久手町	簡易二酸化窒素測定の実施	継続実施	継続実施

あいち新世紀自動車環境戦略に関する施策の実施状況一覧
 作戦No.6 緊急対策地域改善作戦

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
名古屋南部地域の道路沿道環境対策の推進	中部地方整備局	平成13年8月に名古屋南部大気汚染公害訴訟の和解条項に基づき、施策の検討・実施を推進。 進捗状況(平成18年度末現在) ・国道23号の車線削減検討(L=8.6km:継続実施) 車線削減に伴う渋滞が23号における大気汚染物質(NOx・SPM)の総排出量に与える影響及び車線削減に伴う周辺道路への交通分散を加味した総排出量の変化について検討するとともに、名古屋南部地域の総排出量の抑制に資する車線削減の方策を検討	継続実施 ・「国道23号の交通量低減に関する意向調査」を平成19年10月24日(水)に実施	継続実施
		・環境施設帯の設置 平成14年度より用地取得に着手 平成16年度:南区要町(遮音壁のみ)・港区品川町において工事着手 平成17年度:南区要町(遮音壁のみ)完成 平成18年度:港区品川町 完成 平成18年度:港区遠若町 一部完成	継続実施 ・南区要町(遮音壁のみ[期])工事着手予定 ・港区遠若町(H18残)工事着手予定	継続実施
		・築地口IC周辺の整備イメージをまとめ(オープンハウスで公開) L=1.0km 上記、用地取得に着手 ・国道23号沿道環境資料館 平成17年6月開館 ・特車取締りスペースの設置 平成18年度までの実績 国道23号(下り):大府市北崎町 1箇所(累計3箇所) ・特車通行許可違反の車両対策 (走行車両重量計測システム装置に取締用カメラを設置) 国道23号(下り):豊明市栄町 国道23号(下り):名古屋南区丹後通	継続実施 ・特車通行許可違反の車両対策(走行車両重量計測システムを設置予定) 国道23号(上り):飛鳥村付近	継続実施 特車取締りスペースの設置 ・国道23号:飛鳥村梅之郷~三重県境間 2箇所 ・国道23号(上り) 大府市北崎町 1箇所 計3箇所(計画累計6箇所)
愛知県警察本部	道路標識等の大型化、高輝度化 固定式オーバーハング式規制反射標識の設置 (新設10本)	未定	未定	
愛知県警察本部	道路標識等の大型化、高輝度化 可変式オーバーヘッド式灯火標識の設置 (更新7本)	未定	未定	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
名古屋南部地域の道路沿道環境対策の推進	愛知県警察本部	交通安全施設等の高度化 ・信号機の集中制御化 平成18年度 102交差点を集中制御化 ・交通流監視用テレビカメラの整備 平成18年度末までに74基を整備	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部	ドライバーへの情報提供の強化 ・交通情報板の整備 平成18年度末までに89基を整備 ・光ビーコンの整備 平成18年度末までに4,841基を整備 ・交通情報ラジオ(路側通信)の整備 平成18年度末までに20基を整備 ・旅行時間計測装置の整備 平成18年度末までに13基を整備	継続実施	継続実施
	愛知県	国道155号の整備 区間 東海市～大府市 延長 約6.8km(平成13年度供用)		
岡崎・安城地区の騒音対策の推進	中部地方整備局	岡崎・安城地区において、騒音対策として、沿道環境対策事業を推進 計画概要 岡崎地区：欠町～矢作町 約5.3km 安城地区：東栄町～今本町 約2.5km 進捗状況(平成18年度末現在) 岡崎地区：矢作町 約1.4km(工事推進) (うち約0.3km 平成17年度供用) 安城地区：東栄町～今本町 約2.5km(平成17年度供用)	継続整備 平成19年度予定 岡崎地区：矢作町 約1.1km(工事推進) (うち約0.4km 平成19年度供用予定)	継続整備 岡崎地区：継続実施
	愛知県警察本部 [再掲]	道路標識等の大型化、高輝度化 可変式オーバーヘッド式灯火標識の設置(更新7本)	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部	信号運用 交通事故や交通渋滞等地域の交通実態に応じた信号調整 や行楽期における信号調整の実施 交通情報の提供	継続実施	継続実施
	愛知県警察本部 [再掲]	交通情報の提供による交通の適正な分散	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
岡崎・安城地区の騒音対策の推進	愛知県	(主)名古屋岡崎線の整備 区間 岡崎大橋4車線化 延長 約1.4km(平成14年度供用) (主)岡崎刈谷線の整備 区間 渡橋4車線化 延長 約1.1km(平成14年度供用) (主)名古屋岡崎線の整備 区間 岡崎市内B P 延長 約3.3km (主)豊田安城線の整備 区間 尾崎高架橋 延長 約1.2km	(主)名古屋岡崎線の整備 区間 岡崎市内B P 延長 約3.3km (主)豊田安城線の整備 区間 尾崎高架橋 延長 約1.2km	(主)豊田安城線の整備 区間 尾崎高架橋 延長 約1.2km
	愛知県	愛知県トラック協会の国道1号(岡崎市内)における通行量実態調査に対し、運輸事業振興助成交付金を交付。		
	愛知県トラック協会	・道路交通騒音の深刻な地域における「静かな走行」の指導 ・国一岡崎通行量実態調査の実施 調査日時:平成19年2月15日(木)~16日(金) 22時~06時 調査場所:岡崎市唐沢町	継続実施 平成19年度予定 調査日時:平成20年2月14日(木)~15日(金) 22時~06時	継続実施

あいち新世紀自動車環境戦略に関する施策の実施状況一覧
 作戦No.7 エコドライブ実践作戦

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
自動車運転免許の取得・更新時におけるエコドライブ教育の実施	愛知県警察本部	平成14年実績 運転免許取得者 146,034人 運転免許更新者 1,066,302人 平成15年実績 運転免許取得者 139,633人 運転免許更新者 937,571人 平成16年実績 運転免許取得者 134,402人 運転免許更新者 1,112,644人 平成17年実績 運転免許取得者 134,392人 運転免許更新者 1,152,820人 平成18年実績 運転免許取得者 135,413人 運転免許更新者 1,040,824人	継続実施 平成19年9月末現在 運転免許取得者 108,378人 運転免許更新者 770,984人	継続実施
	新城市	就業前、安全運転指示及び運転免許証の携帯確認の励行。	継続実施	継続実施
事業所におけるエコドライブ推進リーダーの設置	愛知県 名古屋市 日本自動車連盟	エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会) ・日本自動車連盟の協力により瞬間燃費計を設置した車を使用し、エコドライブ講習受講前後の運転時のデータ収集と分析・評価 平成18年度実績:1回(27名)	継続実施 名古屋市内では2回実施(愛知県と共催) 愛知県内では3回実施(愛知県単独開催分)	継続実施予定
	豊橋市		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年9月24日)	
	一宮市		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年10月21日)	
	岡崎市		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年11月18日)	
	岡崎市		市民・事業者・行政の協働組織「岡崎市地球温暖化防止隊」によるエコドライブ講座開催	未定
	新城市	設置済みの交通安全クラブ活動を展開した。	継続実施	継続実施
エコドライブ・メンバーズクラブの創設	愛知県	エコドライブ・メンバーズクラブの創設(平成15年3月)会員の募集	継続実施 ステッカーの作成 会員数:2,260名(平成19年9月末現在)	継続実施
	名古屋市	アイドリング・ストップ・エコクラブの創設(平成15年度) 総会の開催 会員へのメールマガジンの配信	継続実施	継続実施
	犬山市	犬山市エコドライブクラブ創設 犬山市環境市民会議が中心となり、犬山市エコドライブクラブを創設し、メンバーの公募と啓発を実施	継続実施	継続実施

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
エコドライブ・メンバーズクラブの創設	日本自動車連盟	「エコドライブ宣言」活動の展開 機関誌「JAF Mate」やイベント会場等で呼びかけ「エコドライブ宣言」をしていただく。 平成18年度実績 14,674名(累計60,749名)	平成19年3月末で「エコドライブ宣言者」が、全国で100万名達成したことから、本年5月より、「エコドライブ中」キャンペーン活動を展開することとした。	継続実施 「エコドライブ中」キャンペーン活動
アイドリング・ストップの制度化	愛知県	県条例によるアイドリング・ストップの義務化(平成15年10月施行) 立入指導件数(平成18年度): 1,133件	継続実施	継続実施
	名古屋市	市条例によるアイドリング・ストップの義務化(平成15年10月施行)	継続実施	継続実施
	岡崎市	市条例によるアイドリング・ストップの義務化(平成18年10月施行)	継続実施	継続実施
	新城市	アイドリングストップ周知看板の設置 新城ライオンズクラブから、アイドリングストップ周知のための看板・シールの提供あり。看板は公共施設内の駐車場(本庁、総合支所、市民病院、市民体育館、作手診療所、高齢者生活福祉センター、保健センター、勤労青少年ホーム、桜淵公園、博物館、保存館、資料館など)に設置。シールは公用車に貼って周知。	継続実施	継続実施
	田原市	アイドリングストップ周知看板の設置 公共施設内の駐車場にアイドリングストップの実施を周知する看板を設置する。 平成18年度: 116枚設置	継続実施 新設の立体駐車場等に設置	継続実施
	長久手町	アイドリングストップのPRを働きかける。	継続実施	継続実施
	幸田町	アイドリングストップ看板の設置 平成18年度実績 町内小中学校駐車場 9校 保健センター 幸田駅西駐車場 など		
中日本高速道路	アイドリング・ストップに関する条例に基づき、休憩施設において指導・周知措置を実施 休憩施設 愛知県下の休憩施設16箇所のうち16箇所(上下別)で指導・周知を実施 指導・周知方法 ポスター等の掲出物による掲示等	継続実施 新たな取り組み無し	継続実施 新たな取り組み無し	
名古屋高速道路公社	公社管理の駐車場において、アイドリング・ストップを実施。 ・黒川ビル地下1F駐車場 ・高架下駐車場(全13箇所) ・管理基地駐車場(全8箇所中5箇所)	継続実施	継続実施	
愛知県トラック協会	中部地区エコ・トラック推進協議会を活用し、アイドリング・ストップ等エコ・ドライブを推進した。	継続実施	継続実施	

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
エコドライブ対応自動車普及	中部経済産業局	アイドリングストップ装置付自動車に対する助成を経済産業省が(財)省エネルギーセンターを通じて実施。法人、個人、自治体がアイドリングストップ装置付自動車を導入する場合、ベース車輛の価格との差額の1/2以内を補助。	継続実施	継続実施予定
	中部運輸局	運送事業者等によるエコドライブの普及促進を図るためEMS(エコドライブ管理システム)機器の導入に対する補助を実施。 【平成18年度実績】 6事業者870台に対して補助実施	継続実施	継続実施
	愛知県 〔再掲〕	グリーン配送制度の導入など、あいち新世紀自動車環境戦略に掲げる施策に積極的に取り組む事業所を「自動車エコ事業所」として認定する制度を創設 「自動車エコ事業所」の認定及びホームページによる取組の紹介 平成17年12月27日よりグリーン配送制度の導入。 平成18年度からグリーン配送制度を本格導入。	継続実施	継続実施
	愛知県		愛知県トラック協会のエコドライブ支援機器導入促進事業(会員がエコドライブ支援機器を購入する際に費用を一部助成)に対し、運輸事業振興助成交付金を交付。	未定
	名古屋市	アイドリング・ストップバスの導入 平成18年度: 140台 (累計: 629台、全車両の6.6%)	アイドリング・ストップバスの導入 平成19年度: 140台(累計: 766台)	引き続き導入に努める。
	名古屋市	アイドリング・ストップ自動車の導入補助 アイドリング・ストップタクシーの導入補助 平成18年度実績: 59台	継続実施 300台予定	継続実施
	名古屋市 愛知県トラック協会	エコドライブモニター制度 (社)愛知県トラック協会会員を対象にエコドライブ支援装置のモニターを実施し、その結果を活用した講習会を開催 平成18年度実績: モニター28台、講習会2回	継続実施 (平成19年度まで)	検討中
	愛知県トラック協会	安全運行の励行と環境改善を支援することを目的として、デジタル式運行記録計装置をあらたに購入し、装着する場合、費用の一部を助成 2,418台	安全運行の励行と環境改善を支援することを目的として、エコドライブ等支援機器をあらたに購入し、装着する場合、費用の一部を助成 平成19年度予定: 3,200台	未定
	愛知県バス協会	エコドライブ管理システムの導入を促進するため53台に助成	継続実施	継続実施
	日本自動車工業会	自動車メーカー各社はアイドリングストップ装置付乗用車やバスをラインナップ。一部車種に燃費表示計を搭載。	継続実施	継続実施
その他	中部地方整備局	エコロードキャンペーンの実施	継続実施	-
	中部運輸局	地方公共団体及び企業を含む民間団体等が実施する、マイカーを抑制し公共交通機関への転換により省エネ効果が見込まれる先進的、モデル的な取り組みについて支援する。	継続実施	地方公共団体や民間事業者等が行う省CO2に資する公共交通利用促進に関する事業について支援(新規)

項目記号	実施団体	平成18年度までに実施した事業	平成19年度に実施する(実施した)事業	平成20年度以降に予定されている事業
その他	名古屋市 日本自動車連盟	タイヤ空気圧点検・調整キャンペーンを、日本自動車連盟、日本自動車タイヤ協会、日本チェーンストア協会の協力を得て実施 平成18年度実績：2回	継続実施	継続実施
	愛知県 名古屋市 日本自動車連盟 〔再掲〕	エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会) ・日本自動車連盟の協力により瞬間燃費計を設置した車を使用し、エコドライブ講習受講前後の運転時のデータ収集と分析・評価 平成18年度実績：1回(27名)	継続実施 名古屋市内では2回実施(愛知県と共催) 愛知県内では3回実施(愛知県単独開催分)	継続実施予定
	豊橋市 〔再掲〕		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年9月24日)	
	一宮市 〔再掲〕		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年10月21日)	
	岡崎市 〔再掲〕		エコトレーニング(体験型エコドライブ講習会)を日本自動車連盟及び愛知県と共催(平成19年11月18日)	
	岡崎市 〔再掲〕		市民・事業者・行政の協働組織「岡崎市地球温暖化防止隊」によるエコドライブ講座開催	未定
	豊田市	エコドライブ社会実験の実施 ・モニターに対する車載器貸与とデータ収集(物流事業者5社、市民30名) ・エコドライブ車載器搭載車を活用した体験試乗会の開催(5日間) ・通常走行とエコドライブのCO2排出量計測 ・エコドライブの継続・効果確認手法の検討	エコドライブの普及啓発 ・教本、ステッカー、ちらし等の活用 ・体験試乗会の開催 ・エコドライブ宣言の実施と効果の確認(Webの活用)	継続実施
	長久手町		公共交通機関を利用した場合、エコマネー制度の導入	継続実施
	日本自動車連盟	自動車ユーザー等に対し、エコトレーニングを始め、自動車使用上の環境に配慮することを目的とした実技講習会や座学講習会を、 11回・289名に実施した。	継続実施 15回・300名に実施予定	継続実施 18回・350名に実施予定
	ボランティアネットワーク 〔再掲〕	交通・環境・まちづくりについてのフォーラムの開催と、それを契機としたコラボレーションネットワークの形成のため、平成16年11月21日(日)にフォーラムを開催。	左記を皮切りに、以降継続的な取組を進める。 フォーラムを年2回程度開催。	継続実施